

偶成（新島 襄）

看山高巍巍 觀海闊洋洋

味得造化妙 小心少發揚

解説 自然の造形を見て感じたままを詠じた詩。

山を 看れば 高きこと 巍々たり

語釈 ※巍々 山の高いさまを形容する。 ※闊 雄大なこと。 ※洋々

〓 ゆつたりと、のびのびとしているさま。 ※造化 万物を作り出し

た自然界の理。 ※妙 優れていること。 ※小心 小さいことにこだ

わる。 ※發揚 意気があがること。

海を 觀れば 闊きこと 洋々たり

味 得たり 造化の 妙なるを

通釈 山を見れば、どこまでも高く、海を見れば廣大無辺で広々と

して限りがない。大自然のすばらしさを心ゆくまで味わえば、人も

また、山のように高く、海のように広々とした心をもつべきことに

気づき、小さなことにこだわっていた私の心も、少しは活気を取り

もどし、大きくなったような気がしてくる。

小心 少しく 發揚す